

第 1 回 杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会会議録（要旨）

会議名	第 1 回杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会	
日 時	令和 6 年 4 月 19 日（金）午後 3 時 00 分～午後 4 時 49 分	
場 所	杉並区役所 中棟 4 階 第 1 委員会室	
出席者	委 員	<p>学識経験者：深尾 精一 高口 洋人 阿佐谷地区町会連合会の代表：田中 昭一 杉並第一小学校通学区域内に存する町会の代表： 宇都野 正朔 佐藤 文夫 徳田 紀美子 杉並第一小学校学校運営協議会、学校支援本部の代表： 伴野 博美 村上 徹也 岡田 円治 松尾 純一 杉並第一小学校震災救援所の代表：近藤 浩 阿佐谷地域の商店街関係者の代表：細田 宗宏 杉並第一小学校校長：山口 祐美子 杉並第一小学校副校長：杉田 英昭 小島 昭博 懇談会委員 15 名（欠席 1 名）</p>
	事 務 局	<p>教育長：渋谷 正宏 学校整備・支援担当部長：高山 靖 まちづくり担当部長：野口 知希 学校整備課長：安川 卓弘 学校整備担当課長：鈴木 伸建 拠点整備担当課長：郡司 洋介 学校支援課長：中曽根 聡 防災課長：手塚 剛 教育施設計画推進担当係長：岡本 智彦 新しい学校づくり担当係長：春日 隆平</p>
傍聴者	16 名	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長挨拶 3 委員自己紹介・挨拶 4 杉並第一小学校の特色等について 5 杉並第一小学校の改築について 6 周辺まちづくりとの連携について 7 今後の進め方 8 閉会 	
資 料	資料 1	杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会 運営要領
	資料 2	杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会 委員名簿
	資料 3	第 1 回 杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会 席次表
	資料 4	杉並第一小学校の改築について
	資料 5	あさがやまちづくりセッションニュース 01 号
	資料 6	今後の進め方イメージ
	参考資料 1	杉並第一小学校 学校要覧

参考資料 2	さんゆう 杉友 2023 年春夏号、秋冬号
参考資料 3	教育ビジョン 2022 概要版
参考資料 4	杉並区学校施設整備計画（概要版）等

進行役	<p>皆様、こんにちは。本日はご多用の中、ご出席いただきましてありがとうございます。また、ここにいらっしゃる皆様には懇談会委員をお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから、第 1 回杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会を開催いたします。</p> <p>私は、杉並第一小学校校長でございます。本懇談会の進行をさせていただきます。</p> <p>初めに、今回は懇談会の初回でございますので、杉並区教育委員会を代表して、教育長よりご挨拶を申し上げます。</p>
教育長	<p>改めまして、皆さん、こんにちは。この 4 月に教育長に着任いたしました。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>私は、平成 21 年度に阿佐ヶ谷中学校の副校長に着任しました。杉並には住んでいたのですけれども、この中杉通りのけやき並木の美しさや、学校で関わったパールセンター商店街の七夕まつりのハリボテづくりなどで、とても阿佐谷という地が好きになり、いつか阿佐谷、杉並に戻ってきたいなという思いを持っておりました。その後、平成 28 年度に富士見丘中学校に校長として戻ってることができました。</p> <p>阿佐ヶ谷中学校で、とにかくこの杉並の地域とともにある学校づくり、学校支援本部の活動、それから、コミュニティ・スクールの活動というものに非常に共感をしまして、そういったものの学校運営にぜひ取り組んでいきたいと考えていたところ、富士見丘中学校でも学校支援本部の人たちに大変支えられて、充実した学校経営を行うことができました。これは杉並区の財産だと思っています。</p> <p>富士見丘中学校に着任した平成 28 年度は、ちょうど小学校、中学校の改築の時期で、富士見丘小中の改築懇談会に携わらせていただきました。そこでも地域の皆さんに様々なご意見を頂きながら、中には厳しいご意見もいただきましたけれども、富士見丘小中、地域にとって、子どもたちにとって、将来誇れるものにしようという思いで、とてもいい学校の基本設計、実施設計をつくることができました。昨年度ようやく小学校ができて、2 年後には中学校ができるという段取りになっていて、非常に楽しみにしています。</p>

	<p>また、高井戸公園を訪れるたびに、私に関わった学校が、今後、50年、80年と残っていくのだということを想像できると思うと、幸せを感じるものであります。</p> <p>杉並第一小学校についても、改築に関して紆余曲折があったとお聞きしております。ただ、この杉一小の学校支援本部は、トップランナーとしてご活躍いただいたその実績を、ぜひ、今後も惜しみなくご教示いただき、地域とともにある、名実ともに杉並のナンバー1スクールとなるような話合いが進んでいくことを期待しております。</p> <p>今後とも、お忙しいとは思いますが、よろしくお願いいたします。</p>
	<p>(委員自己紹介)</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>まず、要綱の前に次第を御覧いただければと思います。</p> <p>本日、議題としては大きく2つございまして、大きく1点目としましては、次第の4と5で、杉一小の学校の特色について校長先生にご紹介いただいた後、事務局から改築についての基本的な事項についてご説明させていただきます。</p> <p>当面は「改築基本方針」と呼んでおりますが、改築でどういう学校づくりをし、目指していくかというところを当面のゴールとして議論していきたいと考えておりますので、その辺りについて、皆様からご意見を頂ければと考えてございます。</p> <p>それから、本日の大きく2点目としましては、次第の6と7で、今後の進め方について、予告のようなお話をさせていただきますので、よろしくお願い致します。</p> <p>全体として2時間程度を予定してございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、おめくりいただいて、資料1の運営要綱を御覧ください。</p> <p>まず、第2条の「目的」のところですが、この懇談会につきましては、(1)(2)の2点について広く意見をお聞きすることを目的としてございます。</p> <p>1点目としましては「校舎改築における基本的な方針に関する事」というのが1点目。</p> <p>2点目といたしましては「校舎改築の基本設計に反映する必要な事項に関する事」ということで、こちらについては、新校舎の配置計画ですとか、平面計画ですとか、環境性能をどういう形にしていくとか、そういったことについて皆様からご意見を伺っていくということでご</p>

	<p>ざいます。</p> <p>それから、第5条を御覧いただければと思いますが、懇談会は原則として公開でございます。本日も傍聴の方がいらっしゃっております。なお傍聴の方については、ご発言はできませんので、ご協力のほどよろしくをお願いします。</p> <p>そのほか、委員構成など定めておりますが、こちらはまた1枚おめくりいただきまして、資料2の委員名簿でご説明をさせていただきます。</p> <p>先ほど校長先生からもご説明いただきましたが、PTAの方、それから、今回学童クラブも併設する想定をしておりますけれども、保護者の方にもご参画いただきたいと思いますっております。年度替わりということでもまだ委員が決まっていない状況ですけれども、5月には決まるという見込みと聞いておりますので、決まり次第、次回からはご参画いただければと考えております。</p> <p>また、今、杉一小を担当する地区の青少年委員の方が空位になっているということで、こちらを選任され次第、懇談会にもご出席いただけるように取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>いずれにしても、当面改築基本方針を決めていくということも非常に重要なステップになっておりますので、途中からのご参加となる方についてもしっかりとこれからご意見を頂きながら、反映できるようにフォローしてまいりたいと思っております。</p> <p>簡単ですが、要綱の説明は以上でございます。</p>
進行役	<p>それでは、この要綱について、委員からの質疑をお受けしたいと思っております。質疑のある委員は挙手をお願いいたします。</p> <p>要綱につきましてはよろしいですか。</p> <p>それでは、進行いたします。</p> <p>次第の4でございます。杉並第一小学校の特色について、私よりお話をさせていただきます。</p> <p>お手元の資料「学校要覧」、黄緑色のものをご覧ください。</p> <p>校長は新年度が始まるとすぐに、学校の経営方針を職員に周知いたします。そして、年度末には次年度の教育課程を編成し、学校運営協議会委員の皆様にご承認いただかないと校長は学校運営を進めることができません。それがこの杉並のコミュニティ・スクールの仕組みでございます。</p> <p>学校経営の基本理念として私が委員や職員に伝えていることから、まずはお話をさせていただきます。</p>

私が考えている教育とは、子どもを一人の人格を持った人として尊重し、認め、励ましながら、人格の形成を目指す営みである。本校に通う全ての児童に、自らの生き方を考え、自らの力で将来を切り開くために必要な基礎学力、強い意思、たくましい体、自信を育てていく。

本校は、開校 149 年の伝統と「教育活動をサポートする地域の実行力」を誇るコミュニティ・スクールである。歴史の中で培われてきた校風や実績を守り、育て、発展させながら、目標を掲げ、知、徳、体の調和の取れた児童を育成する。

学校運営協議会の皆様には、なぜこの教育活動を進めるのかをご説明し、協議・承認を得ながら教育活動を進めております。

続いて、学校要覧の表紙を御覧ください。杉並第一小学校の「一」をデザインしております。誰もが違いを認め合った「オンリー1」、大人も子どももたくさんの「オンリー1」を創り出し、笑顔があふれる学校を目指しています。

教育目標、目指す児童像、そして、校歌が載っています。この校歌は、昭和 27 年、戦後の新しい考えに合わせて作られたものです。杉一の校歌としては三代目になります。当時の児童数は 1,000 人を超えており、歌詞の中にある「文化の国の礎を築く我らの学校に」、この歌詞からも学校に寄せる期待の大きさが感じられます。明るく爽やかなメロディを今の子どもたちが歌い継いでいます。

教育目標は「進んで学ぶ子ども」「心豊かな子ども」「体をきたえる子ども」、目指す児童像として2つずつ示し、学年、学級でさらに具体的な目標をこの新年度に立てているところです。

笑顔あふれるコミュニティ・スクール、子どもたちがその輝きを放つよう、地域とともに学びをつくっています。

代表として紹介する内容が、見開きの次のページに並べて掲載してあります。

1年生は、阿佐谷北口商店会の皆さんとの大凧作り、保護者も参加してくださり、地域の七夕祭りに合わせてアーケードに飾っていただいております。

2年生は、阿佐ヶ谷駅前でのアサガオ配りです。毎年楽しみに、育てて咲かせた花の写真を撮って届けてくださる地域の方がいらっしゃいます。

3年生は、プール掃除の際に流されてしまうヤゴを救い、教室で飼育したり、野鳥を観察したりして、地域の環境を学んでいます。

4年生は、河北総合病院のリハビリテーション専門家の方の授業プログラムで障害について考え、阿佐谷の町に出かけてはユニバーサルデザインの実験を学んでいます。

5年生は、杉並区内にあるフルタ製菓さんのご協力を得て、起業家教育に取り組んでいます。商品を販売するまでには多くの方が関わっていること、プロの方々が協力してくださり、自分たちが考え抜いたことが商品として形になることは大きな達成感につながっています。

6年生は、10月の「阿佐谷ジャズストリート」に大型アートポスターで参加します。来校してくださったジャズアーティストさんの演奏からイメージを含ませ、友達と話合いながら作品を協働して仕上げしていきます。

このほかにも、全校で取り組むものとして、縄跳びやペース走、読書や百人一首などがあります。その読書や百人一首は、学校支援本部による朝先生の取組によって実施されています。朝先生はお手元のPTA広報誌「杉友」春夏号に紹介されておりますので、御覧ください。この広報誌はPTAさんが取材や構成など工夫して作ってくださっています。

朝先生の時間では、火曜日には百人一首、金曜日には読書、高学年では、タブレット学習も取り入れて取り組んでいます。子どもたちは、自分のクラスの先生と朝先生を慕い、学校行事の際もぜひ見に来てくださいとお手紙を渡しています。

朝先生方も、我がクラスと子どもたちをととてもかわいがってくださっています。「うちの子がね」と朝先生が担当しているクラスの自慢をされる姿を校長としてはありがたく拝見しております。

子どもを取り巻く大人の方々が多くいることで、継続的に関わってくださっていることで、心の豊かさが育まれています。

その隣のページで紹介してあるのは「すぎっ子くらぶ」です。20年を超えて運営されております。放課後になると、「ただいま」とすぎっ子の部屋に子どもたちが帰っていきます。すぎっ子の時間には自分が決めたことで自分の思ったように過ごしながらか主体性を伸ばし、異学年での関わりは社会性を育んでいます。

「すぎっ子くらぶ」は、代表の方をはじめ、スタッフの方々が長年いてくださるので、心のふるさととして、卒業生の訪問も多くあります。その卒業生が大きくなり、スタッフになるなど、地域人材の循環が実現されております。

保護者の方々も、とても協力的です。PTAの会長をはじめ、執行部、

	<p>各部や委員の方々が中心となって、子どもたちの生活が豊かになるよう活動を進めてくださっていることも杉一の特色の1つです。</p> <p>すぎいち会というおやじの会もイベントを企画してくれます。秋冬号に掲載されておりますので、また後ほどゆっくり御覧いただければと思います。</p> <p>子どもたちは、とても穏やかです。そのことから、ご家庭が愛情をたっぷり注いで育てられていることが伝わってまいります。</p> <p>課外活動としては、杉友の最終ページに、杉一野球クラブとジュニアバンドが紹介されています。どちらも保護者や外部講師の方々が運営してくださっています。ジュニアバンドは、コンクールのほかに杉並区の納税パレード、ジャズストリートでも演奏し、地域に貢献させていただいております。</p> <p>このほかにも、持ち時間の10分間ではご紹介し切れないほど杉一ならではの活動がございますので、ぜひこの場にいらっしゃる皆様は、ご来校いただき、実際に御覧くださいませ。</p> <p>私からは以上です。</p>
委員	<p>すみません。所用がありまして、私、この辺で今日は中座させていただきます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、次第の5「杉並第一小学校の改築について」、移ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
学校整備課長	<p>右肩「資料4」とある資料を御覧いただければと思います。A4横のカラーのものでございます。</p> <p>「杉並第一小学校の改築について」ということで、まず1枚目、ご存じのとおりかと思いますが、杉一小は移転して改築をするということで、左側の図面を見ていただきますと、現在の道路の状況、また土地利用の関係を示してございます。</p> <p>現在、旧けやき屋敷に昨年2月から新しい病院の工事が始まりまして、建物が立ち上がりつつあるという状況でございます。</p> <p>その後、病院が解体になりますので、そちらに杉一小が移っていくということで、右側を御覧いただければと思いますが、黄緑色で、赤い点線で囲われた「C街区」と書いてあるところが、杉一小の移転用地の街区になるということでございます。この中で一部民地の残る部分がございますが、このほとんどが杉一小の敷地になるとご理解いただければと思います。</p>

これに当たりましては、単に今までの病院のところに学校が移るということだけではなくて、土地区画整理事業等を行いまして、周りの道路の付け替えですとか、道路の拡幅だとかを併せて行った上で学校を移転するという事で予定をしてございます。

おめくりいただきまして、2ページ目を御覧いただければと思います。今申し上げた土地区画整理事業等による道路整備の状況でございます。

黄緑色のところ、約6,700平米と書いてあるところが杉一小の移転先ということになりますが、図の中で下地に薄く線が入っておりますが、河北病院さんの本館と分館の間に現在道路がございますが、こちらについてはなくなって、少し西側に付け替わるような形で、学校の街区を広げた上で新しい街区を造るということでございます。

また、周辺の道路につきましても、区画整理事業ですとか、あと、地区計画といひまして土地利用の規制を併せて入れてございまして、道路状の空間が広がる状況がございます。

一例で申し上げますと、杉一小の移転先であるC街区の北側、杉一馬橋公園通りのところを見ていただきますと「2m+7m(+2.5m)」となっておりますが、こちらの意味としては、北側に2メートルの道路の歩道ができて、7メートルの車道があつて、南側の学校敷地内ですけれども、いわゆる歩道状空地ができるということで、合わせますと11.5メートルぐらいの道路状の空間ができるということで予定しております。

そのほかの三方につきましても、歩道状空地等ができて、道路については広がって、少し周りに余裕ができたような学校の配置になるということでございます。なお、図で5,805平米と記載があるのは、現在の杉一小の敷地面積になります。

おめくりいただきまして、3ページ目を御覧いただければと思います。

こちらについては現校舎の状況と沿革でございますが、明治8年に開校して以降、現在の校舎につきましては昭和32年に、中杉通り側の西校舎が完成してございまして、昭和36年に北校舎と体育館、昭和40年にプールができています。平成23年に校舎の耐震補強工事は行ってまいりますので、当面地震に対する強度は確保した上で現在に至っているという状況でございます。

下段の「現在の校舎規模等」という表を御覧いただければと思います

が、杉一小と区内の小学校の平均を載せてございます。

まず、敷地面積については5,805平米ということで、区内平均に比べますと大体6割程度の狭い敷地になっております。また、校舎の面積につきましては3,788平米ということで、区内平均の7割程度。運動場の有効面積については約1,800平米ということで、こちらは区内平均の4割程度、体育館についても平均よりも2周りくらい小さい540平米という状況の中で、現在学校運営をしていただいているような状況でございます。

おめくりいただきまして、4ページ目、児童数・学級数について、上段が過去の推移でございます。平成以降を載せておりますが、2002年（平成14年）に底をつけまして、2013年（平成25年）くらいまで微増傾向でございましたが、このところは300名台前半、12学級で推移しているという状況でございます。

下の表を御覧いただければと思いますが、今後どうなるのかということで、令和6年度については4月の速報が出ておりまして、319名で12学級という状況でございますが、7年度以降については、児童数については微減傾向ですが、クラス数としては12学級を維持する見込みと考えてございます。

おめくりいただきまして、5ページ目を御覧いただければと思います。こちらからは参考ということですが、先ほど教育長からもございましたが、本校の改築につきましては経過がございましたので、そちらを簡単にご紹介したいと思います。

今から10年前になりますが、平成26年に、区の施設再編整備計画におきまして、現地での改築、それから、阿佐谷地域区民センターや産業商工会館の集会機能との集約といったことで計画化され、翌27年度に改築・複合化検討懇談会を7回開催した上で、基本構想・基本計画を策定いたしました。これがいわゆる「A案」と言っているものでございますが、学校については現地で改築をして、狭い敷地の中での改築でかつ複合化ということでございましたので、校庭については屋上に設けるといった計画でございました。

その後、平成28年8月に、病院が、いわゆるけやき屋敷へ移転改築するとの意向が区にも伝えられまして、それを受けまして、病院跡地が空くという中で、そちらに学校を移転するという可能性もあるのではないかとということで、区として半年程度再検討した結果、29年5月に方針を策定いたしまして、いわゆる「B案」と言っておりますが、学校に

については病院跡地への移転改築を決定したということでございます。

その後、昨年に至るまで、区画整理事業ですとか地区計画の策定などを着実に進めておりまして、病院については改築の工事が始まっている中、昨年の8月から、区長の交代などもございまして、振り返る会など対話の取組を進めてきたところですが、今年の1月に区長が動画を発出いたしまして、学校の移転については進めていく旨を表明したという経過がございました。

おめくりいただきまして、6ページを御覧いただければと思います。こちらは平成29年に移転を決めたときの決定事項ということで、総括的なお話としては、上段の囲みの中でございますが、3点、移転改築を決めた理由としてございました。

1点目は、1,000平米近い広い敷地面積を確保できて、地上校庭が可能になるなど、教育環境の向上が期待できるのではないかとといったこと。2点目としては、地域の防災性の向上に早期に対応できるだろうということ。3点目といたしまして、民間と連携したにぎわいの創出、こちらは主に学校跡地を念頭に置いたことかと思いますが、そうしたことが期待できるというところで、B案を整備方針としたというところですが、杉一小について、下の囲みのところ、3点、今後の取組として併せて決定をしてございました。

1点目といたしましては、改築が延びるということで、現在の施設設備について老朽化の対策ですとか、ICTの環境整備などに取り組むということ。

2点目といたしましては、移転・改築後の学校の敷地面積について、今よりも1,000平米程度広がるとしても、まだ狭いというところもございますので、さらなる用地確保に取り組むということ。こちらについては、その後も一部用地の取得なども区として行っておりまして、引き続き土地確保には努めているところでございます。

3点目は今回ご紹介する必要があるかなと思っております、移転・改築になりましたが、A案、いわゆる現地改築だったときの「整備コンセプト」、あるいは「整備方針」を可能な限り継承することとしまして、杉一小の特色である音楽室の機能の充実等、そうしたものが図れる施設整備を計画するということを決めておりました。

おめくりいただいて、7ページ目でございます。今、3点目でご紹介した、A案のときの整備コンセプトをこちらに載せてございます。

「子どもたちが健やかに育ち、多世代のつながりを育む『協奏する学

び舎』ということで、この当時複合施設ということもございましたので、そうしたことからこうした整備コンセプトを定めておりました。

おめくりいただきまして、8ページ目を御覧いただければと思います。

整備方針については、大きく3点定めてございました。

1点目が「多様な教育に対応できる学習環境の整備」ということで、ICTの教育活動ですとか、一番下のところですよと杉一小はジュニアバンドが大変盛んだというところもございます。また、先ほどもご紹介いただきましたけれども、ジャズストリートのパブリック会場としても使用を想定したような施設の機能の整備をするということも定めておりました。

また、大きく2点目として「安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備」ということで、当時、特に複合施設だったというところもございますので、学校と地域利用施設との間でどのようにセキュリティを確保するかというところで、不審者の侵入防止対策などの安全対策ですとか、ユニバーサルデザイン、それから、自然環境に配慮した学校づくりですとか、学童クラブの学校内への設置等を、目標として定めておりました。

最後に3点目ですけれども「地域に開かれた学校づくり」ということで、地域の方々が利用できるような学校施設にする。それから、災害時の拠点となりますので、防災機能の充実といったところも掲げていたというところを振り返りとしてさせていただきました。

おめくりいただきまして、9ページ目を御覧いただければと思います。2022年に杉並区では教育ビジョンを改定してございます。

「人生100年時代」を迎えてということで、区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きるために、一人一人を教育の当事者に取り込んでいきたいということで定めたものでございまして、抜粋ですけれども概要版というのをまた、校長先生にご説明いただいた学校要覧の後ろに1枚載せてございますので、ご参考にしていただければと思います。

おめくりいただきまして、10ページを御覧ください。こちらは区立学校の施設整備計画で令和3年に改定したものの抜粋でございます。

学校施設は、杉一小に限らず、非常に老朽化が進んでございます。また、学校施設については区立施設の中で面積を占める割合が非常に多くなっております。

この改築というのは、今後、区の財政を占めるインパクトも非常に大

きいところで、改築はしっかりしていくものの、そうした費用面の増加傾向にどう対応していくかということも、非常に区としては大きな課題になってございます。

(3) を御覧いただければと思いますが、「将来を見据えた教育環境の確保」という中で、安全・安心な学校空間というのは当然ですが、3点目「地域の拠点となる開かれた学校づくり」、あるいは4点目「将来転用可能な柔軟性のある施設づくり」といったところは、今後ますます求められてくるところでございます。

学校施設整備計画についても、概要版を参考資料として添付しておりますので、参考にしてください。

おめくりいただきまして、最後 11 ページでございますが、「小学校改築に係る主な意見」ということで、昨年度、振り返る会以降、様々なご意見を頂いた中で、出された懸念事項、移転改築に当たってここは心配だということを3点主に挙げさせていただいております。

土壌汚染と水害の関係、それから、近隣の住環境との調和ということで、土壌汚染につきましては、病院跡地ということでご心配があるということでございますが、こちらについては、病院運営法人さんの責任と負担において調査・対策を実施していただくということになっておりますので、こちらは区としてはしっかりそれをウォッチしていくということになるかと考えております。

また、水害につきましては、こちらに水害のハザードマップ、現在のものを載せておりますが、水色のところが1メートルから最大2メートル程度浸水する可能性があるということを示されているものでございますが、昭和56年以降、実際の浸水としては紫のところ、病院とは離れた東側のところで実際には浸水がこの間ではあったというところですが、病院の敷地については、平成17年の豪雨のときにも特に浸水については起こっていないというところがございます。

3点目として近隣住環境との調和ということでございますが、こちらについては、現在中杉通り側にある学校が住宅地に近い側に移転をするということで、近隣の方のご理解を得ていくということは欠かせないかなと思っております。学校運営に当たって、また教育委員会としても近隣との良好な関係に努めていくことは当然ですけれども、設計においても工夫できることは工夫をしてやっていこうと考えておりますので、こちらはまた設計の中でしっかり取り組んでいきたいと考えております。

最後に、資料はないのですけれども、学童クラブについてです。阿佐

	<p>谷児童館は、3年ほど前まで杉一小のすぐ東側にありましたが、阿佐谷地域区民センターの建物内に現在は移転をしておりますが、杉一小の改築に当たって、その学童クラブ機能については学校に入れるという方向が可能性としてはありますので、その関係で、まだどなたがというのは決まっておりますが、本懇談会にも参加していただく予定でございますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>長くなりましたが、私からは以上です。</p>
進行役	<p>それでは、次第の4、学校の特色について、次第の5、学校の改築について、この内容について、委員の皆様から質疑をお受けしたいと思います。</p> <p>なお、質疑が終了いたしましたら、委員の皆様、お一人お一人からご意見やご提案などを頂戴する予定であります。</p> <p>それでは、質疑のある方は挙手をお願いいたします。</p>
委員	<p>質問です。改築についての資料の1ページ目の杉一小が移転すると想定されている「C街区」、一部私有地、民有地がありますが、これは今後でき得る限り、広い場所をとるか、学校用地としての使い易い土地の確保のために用地取得の努力はしていくのでしょうか。それとも、これ以上の用地確保はもう無理だと、これで行くのだということでしょうか。どちらでしょうか。</p>
学校整備課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この図だと2か所欠けているところがありますが、特に上の細い方の敷地ですけれども、学校敷地内に大きく食い込んでいるようなところがございます、こちらはかなり奥行きがあるものですから、我々としては今調整をさせていただいているところです。今日の段階でどうということは申し上げられない状況ですけれども、先ほどご説明したとおり、用地の拡張と、形をよくするということも含めて、区としては引き続き取り組んでいる状況ということでご理解いただきたいと思います。</p>
進行役	<p>お願いします。</p>
委員	<p>今の委員の質問につなげてになってしまうのですが、数字上は明らかに大きいとおっしゃっていますが、こんなかぎ裂き状態だと、この周りは全く使えませんね。</p> <p>皆様方、行政に関してはこの数字ではいいとおっしゃるのかも分かりませんが、学校教育の中でこんなかぎ裂き状態のところ、子どもの運動とかもろもろのことに、非常に使い勝手が悪いです。</p> <p>なので、数字では明らかに広いからいいではないかという論理でお話</p>

	<p>しされていますけれども、非常にこれは、それこそ2割から3割減で考えないと、この校庭は使えないと思っています。いかがでしょうか。</p>
学校整備課長	<p>先ほどの繰り返しになってしまうのですが、今の段階でどこまでということはありませんが、形よくするという必要だということとは我々も重々承知しておりますので、そういった取組はしている状況です。相手方との関係もございまして、今ここでどうなるということは申し上げられないのですが、おっしゃっていただいた問題意識は持って、区としても引き続き取り組んでいるという状況でございます。</p>
委員	<p>となると、もろもろの不条理な条件を克服しないで、実行することですか。ですね。土壤汚染に関しても。それから、学校の敷地の形態に関しても、それをきちんとした整理をした上で、本来でしたら、子どもの教育の場ですから、それが一番妥当なことだと思っはいるのですけれども、そこは進めながら、そのところはいい方向に持っていくということですか。</p>
学校整備課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>設計を進めていく段階では、地形をしっかり固めていきませんと設計も手が動かさないといいところがございまして、今、この場でいつまでにといいところはあれなのですけれども、設計が始まるまでに何とかというところで、今交渉している状況でございます。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
進行役	<p>ほか、ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>ジュニアバンドも非常にありがたく思っているのですが、ジュニアバンドの状況を踏まえていろいろなことを考えてくださっているとありますが、学校教育はジュニアバンドだけではありません。駅前にあるという立地条件の下にユニバーサルデザインの授業だとか、もろもろ地域の活動というの進めてきたというところがあるのですね。ですので、ジュニバンの子どもたちのために、音のことを考えていただくことは非常にありがたいのですが、今校長先生のお話になった特色というのが全然ここに生かされていないではないですか。ジュニバンの音の問題だけ言えばいいわけではないと思うのです。</p> <p>地域、地域と言うけれども、地域の中にある学校ということに関しては、この立地条件があるからこそ教育を進めてきたというところがあります。そこもきちんとした形で克服していかないといけないということと。</p>

	<p>あっさりと言童が新しい校舎に入るといふのおっしやいましたけれども、では、放課後活動はどうしてくださるのでしょうか。</p> <p>21年続けてきました。ほかの学校ではあり得ません。毎日放課後から5時まで、子どもたちの居場所を確保してきました。この問題はどうかしてくださるのでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>私も長く、委員の皆さんをはじめ、地域の皆さんとともに、学校の教育環境、放課後を含めて取り組んでいただいたということには本当に感謝しております。</p> <p>当然そうした活動が、より取り組みやすい、そういう条件ということも考えながら、今日出ている中にはそこまで具体的なことは書き込まれていなくて、むしろこれから皆さんからいろいろなご意見を頂くのかなと感じておりますが、この間の取組ということは、私をはじめ、教育委員会のみんなは十分に理解していると考えておりますので、徐々に形として具体的なものが出せるのかなと考えております。</p>
進行役	委員どうぞ。
委員	<p>資料4の11ページに赤字で四角く囲んであつて、病院法人の負担で土壤汚染調査・対策を実施することが協定に明記されていふと、これは正しいやり方だと、負担については区が持つものではなくて、地権者が、まず区に土地を交換する前にきちんとしてくれという方針は正しいやり方だと思います。</p> <p>ただ、これが実施されたときに、学校に適さない土壤汚染が万が一見つかつてしまつたとき、このときの対策というのが、相当費用が大きなものになるだらうと思われまふ。</p> <p>例えば、学校は校庭が広い場所になりますので、校庭で子どもたちが安心して運動ができるようにするためには、単に盛土をしたというだけで新しい土を盛つたのだというだけでは、下から何らかの、築地の移転のときにもありましたけれども、有害物質を抑え込むというのはすごく大変なことなのです。この点については区の中で既に、そういった場合に備える協議がされていらつしやるのかどうかについて。協議があるのであれば、その具体的な内容をご説明いただきたいのですけれども、よろしいでしょうか。</p>
学校整備課長	<p>それについては、協定というのを結んでいるのですけれども、土壤汚染が見つかった場合には、病院運営法人さんの負担とまた責任においてその除却をしっかりとやっていただく。それを確認した上で引渡しを受けるといふ形で協定を定めて、それについては合意しているという状況で</p>

	<p>ございます。</p>
委員	<p>病院が自分の責任で、区に渡す前に土壌の改善も行うということですが、一病院法人がそれだけの費用を賄うことがあまり現実的ではない。これだけの広い場所の現在の地面をまず掘り下げて、相当な深さまで掘り下げた後に、現在以上の高さまで土地を改善するというになると、ものすごい費用がかかるのではないかと思うのですが、その辺の費用の見込み、見積りみたいなものは、区で病院と具体的に情報を交換されているかどうかを聞きたいのですが。</p>
学校整備課長	<p>その辺りは、教育委員会というより区長部局のほうでしっかり調整していただいた上で、土地をしっかりと綺麗な形で教育委員会に教育財産として引き渡していただくということになるのですが、土壌汚染が確認された場合には、汚染土壌の除却等の措置をしていただいた上でということになります。これは当然病院のほうもリーガルチェックをした上で、協定という名のある種の契約を結んでいるという状況でございますから、現実的ではないということは我々としては考えていないというところでございます。</p>
進行役	<p>委員どうぞ。</p>
委員	<p>移転するかどうかについても、区長も学校までわざわざおいいただき、私たちと話をする機会もありました。そのときも区長に申し上げたのですが、この計画全体が、阿佐ヶ谷駅北口のにぎわいを取り戻す、一層にぎわいのある町にするための一環なのだと、そういうご説明ですよ。</p> <p>学校というのは静かな環境のところで学ばせるのがいいのだと。昔、都心にあった学校がみんな多摩地域に移転したりもしましたけれども、つまり静かなところで学ばせるのがいいのだという考え方もありますけれども、先ほど校長からもご説明させていただいたように、杉一のこの150年に及ぶ伝統というのは、言ってみれば町の中で、人々が行き交うにぎやかな街とともに子どもたちが成長しているというのが杉一の伝統でもあり、よさでもあると思うのですね。</p> <p>それで、阿佐ヶ谷駅北口全体を一層にぎわいのある町にするのだと、小学校も、新しい場所に移転して、ジュニアバンドは一層活躍できる環境を整えてほしいし、校庭では子どもたちが声を張り上げて元気に跳びはねることが出来るような学校をつくりたいわけですよ。</p> <p>しかし、子どもたちが元気でにぎわえばにぎわうほど、率直に言うと、学校に移転した先の周辺住民の方は大丈夫かなと。</p>

私は自宅が朝鮮第九小学校のすぐそばで、生まれたときからそこで育ちました。私自身は子どもたちが遊んでいるにぎやかな声だとか、運動会の際の大きな拡声器の音だとか、全く気になりません。というよりも、子どもたちのにぎやかな声が響き渡っている町のほうが、泥棒もないだろうし、不審者がいればみんな気がつくだろうしという、そっこの町のほうがいいと感じているほうです。しかし、そうでない方もいらっしゃるって、学校周辺の住民の方からのクレームが多いという話も随分お聞きしますよね。

これはこれから新しい杉一をどうつくるかを考えるときの、ある意味でいうと二律背反の部分で、学校も子どもたちが本当ににぎわいながら元気よく、その学校で育っていくような学校づくりを考えるのですが、考えれば考えるほど、もしかするとそれは近隣には音が結構な音なのかもしれないのです。近隣への騒音対策のために、少し道路を広く取るとか何とかと書いてあるけれども、本当にそういうことで近隣の方々の不安を解消できるのかどうか。

今日は町内会の方もいらっしゃっていますけれども、阿佐ヶ谷駅北東地区をにぎわいのある町にしようというのが全体の目標ですね。本当ににぎやかな町にするわけですね、今よりももっと。そのことを、今の河北の周辺は比較的静かな地域です、あの辺は。あの辺の方々が「いいですよ」と、「小学校が来て、子どもたちがうちのそばにたくさん来てくれたらウェルカムです」と、「一緒になってにぎやかな町にしましょう」ということになってくれればいいとは思いますが、そう簡単ではないと思います。

教育長も、町が育てる学校、コミュニティ・スクール、同時に、学校がつくる町、と仰っています。今度、移転して、そこで杉一小学校を核にしたにぎやかさの創出というのも当然考えるわけですがけれども、それと周辺の方々にとっての環境との折り合い、つじつまの合わせ方、私、区長に言いましたけれども、学校は余計だから静かなところへ行って、静かなところで勉強しなさいと。あなた方いなくなったら、そこでにぎやかな場をつくるのですよということなのか。それとも、学校も含めた、少子化と言われているこれからの時代にとって子どもたちは宝ですよ。これからの日本を背負う人たちなわけです。元気のいい人材を育てていく教育をできるかどうか。小手先の道路を広く取るから、或いは二重窓にするから大丈夫ですという次元で済むのかどうか考えどころだと思います。

	<p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から回答はありますか、ご意見として終わりますか。</p>
学校整備課長	<p>ご意見として、ありがとうございます。</p>
進行役	<p>たくさんのご意見があっあってありがたく思います。お預かりしているタイムスケジュールがございますので、どうしてもこの場で発言をとという方、お願いしたいと思います。</p> <p>また、ここでは言い切れないというものは事務局が用意しています意見・提案票に書いてお送りいただければ、よろしいのですね。</p>
学校整備課長	<p>今、質問ということで校長先生受けていただいたと思うのですが、ご意見ということで、そのほかの今発言されていない方、一通り頂けると助かると思いたすが。</p>
進行役	<p>では、先に申しました、この後、委員お一人お一人からのお話に移ってよろしいですか。</p> <p>では、今の学校のこういうところを残して行ってほしい。新しい学校にはこういうことを望んでいく。この懇談会が進むべき方向、願っていることなどを委員お一人お一人から頂戴したいと思いたす。</p> <p>たくさん委員がいらっっしゃいますので、1分、2分程度でおまとめいただければと思いたす。</p> <p>また最初に指名して申し訳ございませが、先ほどの自己紹介の順でござ言いたきたいと思いたす。</p> <p>学識経験者の先生のお二人には最後にコメントとして頂戴できればと思いたす。</p> <p>では、お願いいたします。</p>
委員	<p>疑問点について、今できる質問はさせていただきます。</p> <p>これからの学校づくりについての意見ということについても、もう少し、次回以降にきついろいろな発言をしなければならなと思いたすので、ほかの委員の方々に時間をお譲りしたいと思いたす。失礼いたします。</p>
委員	<p>大変申し訳なく思っています、思いを話させていただきました。</p> <p>このタイトルが、改築検討懇談会なので、参加させていただきます。移転とは1つも書いていない。その次のところから移転問題になっているのでああいう発言をさせていただきます。私が思うのは、より子どもたちが本当に安全、それは心の安全も含めて、健康の安全も含めて、安全に学べるその学び舎というものを考えながらこれから進ん</p>

	<p>でいければいいのかなと思っています。</p> <p>ただ、それこそあそこで 30 年以上地域活動をした者にとっては、忍び難いものがありますので、申し訳ございませんけれども、論理性には少しうといかも分かりませんが、思いというのはこれからも話させていたただこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>私自身の学校時代に比べると、今、杉一も含めてですけれども、とてもいいなと思っているのは、学年を超えた子どもたちの交流があることです。先ほど小中一貫校の高円寺学園のお話も出ましたけれども、これから具体的な教室のづくりだとか、建物のことを考えていくときに、1つはそういうクラスを超えてとか、学年を超えた学びみたいなものがしやすい形というのは、1つの考えのポイントかなと思います。</p> <p>併せて、これも紹介がありましたけれども、杉一小は地域との交流は一生懸命いろいろな形でやっています。以前の現在の場所で建て替えることを検討した懇談会では、ほかの施設との複合計画ということもあって、ほかの施設の方々との交流も同じ建物の中で交流することができるという部分も含めて、地域あるいは先生や親だけではない地域の方々との様々な交流というのがとてもしやすい形を考えることができました。今度は少し駅から離れたところに行くことも含めて、地域との交流、地域が育てる子どもたち、地域とともに成長する子どもたちの部分はどう担保されるのか。学校のあり方を考える上で大切な視点だと考えています。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>土地のことに関してですけれども、あの辺の地区はものすごく地盤が弱い地区なので、平均大体 6メートルから 7メートルまで無抵抗なのですよね。だから、防災などに当たって、そういう拠点を造るのでしたら、よっぽど地盤をしっかりしてもらって、建物もしっかりしたものを建ててもらわないと、地震が来たときに傾いたりなどするので、そういうことは専門家の方がちゃんとやっていると思うのですけれども、私たち素人はどうしてもそういうことが一番心配になります。よろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>私が一番心配しますのは、騒音の問題です。杉一小学校は、駅前にありますが、周り近所に住宅というか個人の住宅が少ないので、運動会と</p>

	<p>か盆踊りをやる場合でも、申し訳ありませんというお手紙を回して歩くという学校もある中でそういうことがなく、伸び伸びと行動ができていたのですけれども、今度、新しいところへ行った場合は騒音の問題が一番の問題だと思うのです。</p> <p>それと、杉一小の跡に何ができるかによって、学校のにぎわいのあるというのは変わってくるのではないかと思いますので、そちらのほうのビジョンも聞かせていただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>杉一小学校の置かれた場所は非常に便利なところだということは間違いない。今度、河北のほうに移るというのは住宅街の中に移ると。すると、小学校というのは、避難所に指定されている、町会連の立場からすると、いざとなったらあそこへ駆け込むということが方針として決まっている。そのときに、先ほどおっしゃったように、どれだけの設備で、どれだけのキャパがあった形に将来考えていただけるか。</p> <p>もちろん子どもの教育というのは大前提であるのでしょうけれども、いざというときの地域のよりどころということが僕はどうしても大事になります。ですから、その辺を踏まえて、ぜひ頑丈な、頼れる場所になってほしいなと思っています。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>私も先ほどの委員と同じ地域に住んでいまして、朝鮮学校の、年何回かにぎわい、運動会もありますけれども、うるさいといえはうるさいのですけれども、私はにぎわいがある方がいいなと思うのですけれども、周りの人は、うわさによるとうるさいなと言う人もいますね。</p> <p>その近くに、正門の前に、戸建ての住宅があったのですけれども、そこの方は引っ越してしまって、うるさいかどうかはその辺は分からないのですけれども、その後、アパートが建ちます。ということは、周りの人の環境、今度は杉一小学校が移転しますけれども、うるさいという人と、にぎわいがあったほうが良いというせめぎ合いがあると思うのですけれども、その辺は運動場とか建物でうまくやるしかないと思うのです。</p> <p>あと、防災関係で、区民センターが今度新しくできましたけれども、いろいろ防災関係のことで力を入れて、いろいろな設備、簡易トイレの水槽とか、そういうのをいろいろ設備して新しくなっていますけれども、今度は杉一小もその辺のことを考えて、これからはいろいろ敷地と</p>

	<p>かあるのですけれども、にぎわい、うるさいということと、逆に震災救済所の設備がありますよということをやうまく設計していただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>先ほど前半にお話が出ていたのですけれども、表現は申し訳ないですけれども、批判というか、そういうところばかりが出ていて、なのでこういうふうにといい意見が付随して話が出ていないので、どうも聞いていて腹立たしいのですよね。</p> <p>今、この移転した施設の中で、どういう交わりができて、地域とどうなじめるのか、どうやったらいいのか、その工夫の話がないので、さっきから聞いていて、自分も話をするのが嫌になっているのですよね。</p> <p>もうちょっと前向きのお話が出て、それも期待して今日ここに来てみたのですが、相変わらずだなと思いました。</p> <p>自分も杉一小学校のそばです。自分が今住んでいる中で、およそ阿佐谷で70年、阿佐谷に来る前も、小学校、新潟で1学期だけいたのですが、学校のそばでした。人は、子どもたちが大勢集まると甲高い声でにぎやかになります。それがうるさいと聞き入れるのか、私からするとできていない大人だなと、そんなふうには言いたくなってしまうのですが、皆さんのお話を聞いていて、私はそんなふうには感じました。</p> <p>それ以上、まだありますけれども、やめます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は立場としては担任とか、これまでずっと教員としてやってきました。子どもたちが笑顔になるというように校長の経営方針がありましたけれども、そこを大切にさせていただきたいなと思っております。</p> <p>今の子どもたちも、これから子どもたちも、杉一小の子たちが主役となるような学校づくりを考えていただくと非常にありがたいなと思っております。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>進行役も話してよろしいですか。</p> <p>たくさんの方々が杉並第一小学校のことを真剣に考え、議論して下さるということに大変感謝いたします。</p> <p>皆様の思いを行政が受け止め、よりよい建物ではなく、よりよい学び舎、地域の文化の発信拠点となれるようお願いしたいと思います。</p>

	<p>以上です。</p>
委員	<p>私も今の子どもたちと接していて、すごく毎日生き生きと伸び伸びと生活している子どもたちがどんどんどんバトンを引き継いでいって、新しい学校になる頃には、今学校には通っていない子どもたちが新しく入ってきます。そのときに、新しく入ってきた子どもたちもそうですけれども、今の子どもたち、あるいはご卒業された皆さん、あるいは地域の方々が本当にこの学校を建て替えてよかったなと、いい学校だなと思ってもらえるようにするのが我々の役割かなと思っていますので、何かそこで力を、微力ですけれども、発揮していきたいなと思いを新たに決意いたしました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>お願いいたします。</p>
委員	<p>本当に熱い思いに圧倒されている感じがしますが、最初の要綱の説明のときに、この会の目的の紹介があって、広く意見を聞くことを目的とするという話でしたので、専門家からすると、言い返したくなることもあったのですが、そうしていると広く意見を聞くということにはならないので控えていました。</p> <p>いずれにしても、いろいろな問題は多分出るのだろうとは思いますが。技術でもって解決できることもたくさんあります。広く開かれた学校として、地元の人たちと一緒にやらないとできないこともたくさんありますので、こういった場所が開かれるということ自体がすごく貴重で大事なことなのではないかなと思います。</p> <p>専門家の立場からすると、ここの現地で建て替えるのと移るのでは、地面に校庭があるということの意義はすごく大きいのではないかなと思います。今、形がいびつであるとか、いろいろな指摘もありましたけれども、まだ頑張るとおっしゃっていますし、そういうことにも期待しながら、校庭が屋上にあるとそこに行くのは大変ですし、いざというときに地域の人がそこに上がって行かなければいけない。電気も消えているという状況では、地面の上にある校庭とは役割が大きく違いますので、そのアドバンテージは大きいのではないかなと思います。</p> <p>それだけではないとはもちろん思いますけれども、いろいろな意見を聞きながら、最後はそういうのを設計の人に要請をするということで解決できることがたくさんあると思いますので、とにかくまずは広く意見を聞くということが大事なのではないかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>

進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>今日は最初ですので勉強するつもりで来たので、私の意見はあまり言うつもりはなかったのですが、広く意見を聞きたいとおっしゃったので、意見を言わせていただきます。</p> <p>最初の紹介のときに、53年前になるのですが、私、卒業設計で沓掛小学校の建替計画というのをやったのですが、なぜそういうことをしたか。当時、建築学科の学生の最後のまとめとして学校建築を卒業設計とする人は皆無でした。ただ僕は当時の沓掛小学校が、さっき校長先生「建物」とおっしゃったけれども、「建物」であるけれども、「建築」ではないと思ったのです。それが、これなのです。(資料の杉並区第一小学校の写真を指して)これは杉一ですが、沓掛小学校もこういう感じでした。</p> <p>資料の10ページにあるように、昭和30年代から40年代にかけて、不燃化を目的に、それから、鉄筋コンクリートで建築を造るという技術を日本中に広めるきっかけにもなったということで、当時の文部省が先導して、できるだけ早くそういう学校をつくらうと。かつ、費用を抑えて、効率的な学校をつくらうということで進められたのです。</p> <p>それに関しては、我々が所属している日本建築学会というの、相当お手伝いをして、いわゆる標準設計というものを作ったのです。それが、これなのです。これは「建物」であっても、我々からいうとこれは「建築」とは思えない。「建築」というのはもっとすばらしいものだと、当時、私は考えたのです。</p> <p>その後、3、4年、文部省も含めて進められた学校建築の新しい開発に、私も携わったのですが、その当時は全く、そういう意味での動きはできなかったのです。これでいいのだという感じでした。</p> <p>ただ、30年ぐらい前から、小学校、中学校はそうではないのだ。子どもたちの住まいであって、かつその建物は自分たちが誇れる建築だという必要があるのだというふうにかなり変わってきて、今、最新の小学校、中学校、一生懸命設計したのを見に行かれると、こういうものでは全然ない建築ができています。</p> <p>なので、そういう意味では、今改築をされる。場所は、元の場所でも同じようなことが起きるかもしれませんが、複合施設よりは単独の学校として、今この建築界を取り巻く中で、実は建設費が高騰しているのでなかなかこれから事務局の方は大変ですが、すごくいい学</p>

	<p>校ができる可能性がすごく高まっていると思います。</p> <p>卒業した子どもたちが「僕たちの学校こうだったよね」と言われるのは、どこかに杉らしさを見つけてくださるとは思うのですけれども、でも、ほかの学校を卒業した人とも同じなのです。</p> <p>明治の頃の学校というのはそうではなくて、明治に建った、この学校は明治8年、その頃建った建物というのは絶対地域に誇れる建物だったし、「杉一ってああいう学校だったよね」となっているはずなのです。</p> <p>ですから、事務局にお願いしたいのは、これが建つ前の杉一がどんな学校だったか。大正の頃の学校はどうだったか。明治8年の校舎は、写真が多分ないと思うのですけれども、そこまで遡る必要ないと思うのですが、杉一の建築としての歴史がどうだったかという資料を探すことができれば、ぜひそれを用意していただいて。</p> <p>ただ、これももう70年もたっているんで、ほとんどの方の杉一のイメージはこれなのだと思いますけれども、これから先の、ここで学ぶ子どもたちが「僕たちはこういう学校で学んだんだよ。ほかの学校とは違ってすごくいいだろう」と、中学校に進学したときに「俺たちはこういうところで学んだんだぞ」と威張れるぐらいの学校にぜひともしていただきたいと思いますし、これから、敷地の問題はいろいろあると思いますけれども、建築をどういう設計で進めるかというプロセスに関して、ちょっとだけ伺ったところだと、そういうことも期待できるようなプロセスを区としてもお考えのようですので、それはぜひ期待したいと思います。</p> <p>今日のところは以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆様のご発言により、とても充実した時間を持つことができました。</p> <p>続きまして、次第の6に移ります。「周辺まちづくりとの連携について」、事務局から説明をお願いします。</p>
拠点整備担当課長	<p>拠点整備担当からご紹介させていただきます。</p> <p>右上に「資料5」と書かれているものを御覧いただければと思います。</p> <p>真ん中に丸く写真がある資料でございます。</p> <p>こちらは「あさがやまちづくりセッションニュース」というものでございます。</p> <p>タイトルにございますように「みんなでつくる新たなまちづくりの取組が、始まります」ということで、既にご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、阿佐谷における新たな対話の場として行うものでご</p>

ざいます。4月上旬に阿佐谷の北と南の各町目の方にお配りしているものでございます。

中を見ていただければと思います。

左上、「あさがやまちづくりセッションって何？」ということで、地域の方々と区でテーマごとに町の課題や将来あるべき姿について話し合う場としてございます。

進め方としましては、真ん中のところに青と緑で書いてございますけれども、テーマ自由型と指定型というものがございます。

「テーマ自由型」、緑のほうですけれども、こちらについては、まちづくりに関して話し合うテーマ自体も区民の方とともに進めていくものでございます。

6月頃と書いてございますけれども、まず最初に、まちの全体についてテーマ探しのワークショップをしまして、そこで出されたテーマごとに対話をしていく予定です。こちらには、例示として自転車の通行だとか、バリアフリーだとか、防災だとか記載してございます。今日のところは詳細は割愛させていただければと思います。

次に、右側の青いところについてご説明させていただきます。

こちらは「テーマ指定型」ということで、区でテーマを指定しました上で意見交換を行うものでございます。本日、私どもまちづくりの担当の者が来ていますのも、このこととございまして、テーマ指定型のうち、杉並第一小学校の移転改築についても、あさがやまちづくりセッションという枠組みの中で、教育委員会の学校整備課とともに意見交換を行っていくものでございます。

こちらの懇談会とか、今後設計が進んでいくと設計の説明会とかがございましてけれども、それ以外の、まさに、先ほど委員からありましたように、広く意見を聞く場ということで、区でも初めての取組かなと考えてございます。

杉一小につきましては、後ほどご説明しますが、6月9日を予定してございます。杉一小のこのあさがやまちづくりセッションで出た意見につきましては、こちらの懇談会にもフィードバックすることで考えておりますので、その場での議論の参考にしていただければと思います。

また、その他、時期は未定でございますけれども、先ほど委員からございました杉一小の跡地についてや、地域の方々が行っているエリアマネジメントについても同様にセッションという場を用意したいと考え

	<p>てございます。</p> <p>また、今日お配りしております、A4判で杉並区の広報を配付してございます。縮小版で小さくて申し訳ないですが、こちらの中段のオレンジのところに「あさがやまちづくりセッションの参加者募集」ということで、4月15日号の広報で募集を載せてございます。</p> <p>テーマとしましては、杉並第一小学校の移転・改築に向けた目指す学校像の提案などについて、ワークショップ形式で行うことを考えてございます。募集につきましては、この広報すぎなみによる方法と、これから地域の方々に無作為抽出でご案内を差し上げようと考えてございます。</p> <p>以上、あさがやまちづくりのセッションと杉並第一小学校の関係についてご説明させていただきました。以上でございます。</p>
進行役	<p>ただいまの内容につきまして、ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、次第の7「今後の進め方」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
学校整備課長	<p>今の説明とも関連するところで、今後の進め方、特に懇談会の進め方について私から説明させていただきます。</p> <p>資料6と書いてある資料を御覧いただければと思います。</p> <p>「今後の進め方イメージ」ということで、冒頭、要綱のところでも説明させていただいたところですが、本懇談会の目的としての2点、基本的な方針、それから、基本設計に反映することということで、大きく2つステップに分けられると思っております。</p> <p>1ページ目のところ、1回目から4回目ぐらいまでで、基本方針といったものを固めていければと考えてございます。</p> <p>次回、第2回につきましては、先ほど先生からも、今の学校はかなり違っているというお話もございましたが、新しい学校などを見ていただいて、今後の学校づくりについてイメージをもう少し共有していければ、また議論も深まっていくのかなと考えてございますので、それを5月。</p> <p>それから、6月には、今日頂いたご意見なども参考にしながら、改築基本方針のたたき台ですとか、あと、改築の規模ですとか、どういった部屋を具体的に造っていくのかといったところの素案といったところをお示ししながら、基本方針の策定に向けて議論を進めていければいい</p>

など考えてございます。

その後、基本方針を決めましたら、設計事業者を、中段の8月から11月にプロポーザル方式ということで書いてございます。通常、設計事業者については、入札で、金額で決めることが多いのですが、今回についてはプロポーザル方式ということで、企画提案を頂いて、その提案を審査、評価をして、しっかり技術的にも、また提案力も含めて、力のある事業者を選んでいくということをやっていきたいと考えてございます。

基本設計をこの懇談会でまとめたら、それをどのように実現していけるのかというところで、事業者さんから技術的な提案も含めて、頂いて、11月ぐらいに事業者さんが決まっていく予定でございます。

それを踏まえて、12月ぐらいになるかと思えますけれども、懇談会を再開いたしまして、設計事業者の提案のご紹介を頂くとともに、具体的な配置計画ですとか、平面計画の議論などを深めていければと考えてございます。

基本設計については来年の6月頃まで、本懇談会については1年強、足かけ2年間にわたるところになるかと思えますが、よろしく願いできればと思えます。

おめくりいただきまして、今後の改築のスケジュール（予定）ということで、2ページ目を御覧いただければと思えます。

基本設計の後、実施設計とって、具体的にどういうふうに工事を施工するかという細かい設計に入っております。それができますと、工事に入っていきます。それが令和8年度の終わりぐらい、令和9年の1月頃から新校舎の建設工事を予定してございまして、新校舎については、令和11年度頃になるかと思えますけれども、新校舎を運用開始できるのではないかと考えてございます。その後、既存校舎の解体を予定しております。

スケジュールについては、今後もまた設計等で変わってきますので、変わり次第、また周知をしていければと思っております。

最後の3ページ目を御覧いただければと思えます。

先ほど拠点整備担当課長からも説明ありましたが、真ん中のところに杉一小の本懇談会、大体1回目から9回目ぐらいがありまして、上にあさがやまちづくりセッションの杉一の改築をテーマとしたセッションをイメージで出しております。6月9日に1回開催いたしまして、第3回の本懇談会でご紹介できればと考えてございます。

	<p>本懇談会以外にも、公募の方々含めて、多様な皆様のご意見がそこで聞けると思いますので、そうしたことも参考にしながら、本懇談会で揉んでいって、基本方針に反映できればと考えてございます。</p> <p>その後、設計業者が決まりましたら、12月ぐらいにセッションの第2回を開催いたしまして、懇談会でいいますと第5回目ぐらいに再び行いまして、そちらのほうでも、これから基本設計をどういう形でやっていくかということについてもご意見を頂きながら進めていければと考えてございます。</p> <p>先ほどのセッションの話と併せて、またこの後、質問などあればご質問いただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>内容が2つありました。1つ目の、視察先の希望について、そのほかのスケジュールについてです。</p> <p>1つ目の、まずは視察の希望先、ございますか。このような場所がいいとか。最先端がいいとか。杉一と同じような敷地面積のところがいいとか。お金を惜しみなくかけているところが見たいなど。事務局にお任せでよろしいですか。</p>
委員	<p>5月と書いてあって、日にちが全然まだ未定のような状況で、今もう4月半ばなので、スケジュール的には早め早めにご案内いただかないと、非常に調整に苦しむので、ぜひその辺はご配慮いただきたいと思います。</p>
委員	<p>私もお願いしようと思っていたのですが、なるべくあらゆるスケジュールを前倒しでお知らせいただくようお願いいたします。</p>
進行役	<p>ほか、ご要望ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>見学は、知見がないので。見に行かないまでも、例えばこんな試みのものがあるというような資料も1つだし、それから、実際見に行くところについては、1か所なのか2か所なのか分かりませんが、比較対象になり得ると思われるものを選んでいただいて、見に行くということでもいいのではないかと思います。</p>
進行役	<p>事務局、要望をかなえていただくということでもよろしいですか。</p>
学校整備課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>区内であれば、2か所ぐらい行けるかなと思っていますので、併せて、スライド等でも事例などを集めてご紹介できるように取り組みたいと思います。ありがとうございます。</p>

進行役	<p>では、2つ目の、改築スケジュール、あさがやまちづくりとの連携について示されたスケジュールについて、ご意見ございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、これで質疑等については終了となります。</p> <p>最後に、本日の懇談会についてコメントを頂戴できればと思います。</p> <p>よろしいですか。</p>
委員	<p>言いたいことはさっきほとんど言ってしまったのですがけれども、本当にこういった機会が当たり前のようにここで開かれていますけれども、実はそんなにあることではなくて、通常では、教育委員会がコンペなり入札をして、そのまましゃんしゃんと進んでいくケースが非常に多い。こういう形でいろいろな意見を聞きながら、内容も含めて議論をして進めていくというのが、まさに杉並らしいといえますか、阿佐谷らしいということだと思います。このチャンスを生かして、いい小学校に最終的になるように頑張ってくださいいただければいいのではないかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>あらかじめ意見を求められますとは伺っていたのですがけれども、さっきのがそれだったと思ったので、ほとんどしゃべってしまいました。</p> <p>付け加えることはあまりありませんけれども、お役に立つことがあれば、これからも頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>閉会の挨拶を学校整備・支援担当部長より申し上げます。</p>
学校整備・支援担当部長	<p>本日は、皆さん、どうもありがとうございました。</p> <p>今日はまず、第1回の会合ということで、皆様から意見を聞くということが最大のミッションかなと思ってやっておりました。</p> <p>ただ、この4月、慌ただしい中で、皆さんの意見をいただくということで、なかなか意見の整理もできない中、いろいろな説明を今日初めてさせていただいたということもあり、皆さんの思いというものがまだまだ酌み取れていない部分がたくさんあるかと思っています。</p> <p>そうしたご意見等は、今後、集まるのは限られた期間、時間になるかもしれませんが、この懇談会、もしくは個別にでも結構ですので、皆さんとコミュニケーションをしっかりとって、今後の運営に当たっていきたく思っておりますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>もう1つ、皆様からの意見、これは地域、学校、そういった関係者の</p>

	<p>方のご意見ですけれども、私どももうひとつ大切だと考えているのは、子ども、当事者のご意見です。学校に今通っている子どもたちが、この杉一小の改築に当たってどのように考えているのかというようなことを、また、どんな学校にしたいのか、どんなことを学校に求めているのかみたいなことを、学校の協力の下、アンケートを取って整理していきたいと思っております。それは、なるべく早く、整理できた段階で皆様にもお示しさせていただいて、今後の議論の参考にさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は本当に貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後、皆様のご意見を、きちんと真摯に受け止めて対応してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
進行役	<p>これもちまして、第1回杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会を閉会といたします。皆様、ありがとうございました。</p>